

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念でモーリスがG I 初挑戦初制覇

6月7日(日)の3回東京2日・第11レースとしておこなわれた安田記念(G I)ではモーリス(牡4歳/美浦・堀宣行厩舎)が1番人気に凭借着優勝、G I 初挑戦初制覇を果たしました。これで安田記念は、2013年ロードカナロア、2014年ジャスタウェイに続いて1番人気3年連続で勝利。4歳馬の勝利は2008年のウオッカ以来7年ぶりですが、4歳牡馬の勝利は1999年のエアジハード以来16年ぶりのこと。同馬の父スクリーンヒーローは、産駒のG I 初制覇となりました。また堀調教師は前週の日本ダービー(ドゥラメンテ)に続く2週連続のG I 勝利で、2011年のリアルインパクト、2012年のストロングリターンに続く安田記念3勝目。これは同レース歴代最多となります。

●ベルラップが故障

2014年ラジオNIKKEI杯京都2歳S(G III)の勝ち馬ベルラップ(牡3歳/栗東・須貝尚介厩舎)は、右第3手根骨々折および右第1趾骨近位骨折を発症していることが判明しました。今後6か月以上の休養を要する見込みです。

●エスメラルディーナがJRA所属馬初となる韓国遠征勝利

6月7日(日)、韓国・ソウル競馬場にておこなわれたトゥクソムC(韓国G 3/ダート1400m)では、エスメラルディーナ(牝4歳/美浦・斎藤誠厩舎)が1着となり、2014年関東オークス(Jpn II)に続く重賞2勝目をマークするとともに、JRA所属馬としては初となる韓国遠征を勝利で飾りました。

●新種牡馬勝利第1号はカジノドライブ

6月6日(土)の3回東京1日・3回阪神1日より、今年の2歳新馬戦(メイクデビュー)がスタートしました。翌7日(日)の3回阪神2日・第5レースでは、カジノドライブの初年度産駒コウエイテンマ(牡2歳/栗東・川村禎彦厩舎)が優勝、新種牡馬の勝利第1号となりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ホワイトフーガが関東オークス(川崎)を大差勝ち

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月10日、川崎、2100m)は、序盤中団から1コーナー手前で早々と先頭に立った2番人気のホワイトフーガ(大野拓弥騎手、父クロフネ)が、2着のポムフィリアに2秒3の大差を付けて圧勝。単勝1.4倍で1番人気のアルピアーノは4着、スキースクールは9着に敗れています。

●北海道スプリントC(門別)でシゲルカガが重賞初制覇

北海道スプリントC(Jpn III、6月11日、門別、1200m)は、逃げた2番人気のシゲルカガ(勝浦正樹騎手、牡4歳、父パイロ)がポアゾンブラック(北海道)を $\frac{3}{4}$ 馬身振り切って優勝。出遅れて中団から差を詰めた単勝1.4倍で断然人気のダノンレジェンドは3着、3番人気のアドマイヤサガスは4着、タイセイレジェンドは10着でした。

●岩手のロールボヌールが無傷の6連勝、各地の主要3歳重賞

ダイヤモンドC(6月1日、盛岡、2000m)は、先手を取ったロールボヌール(牡、父フレンチデピュティ)が手綱を抑えたまま後続を10馬身引き離し、単勝元返しの支持に応じてデビュー以来の連勝を6に伸ばしました。北海優駿(6月2日、門別、2000m)は、単勝1.1倍で圧倒的人気のおヤコダカがスタート直後に躓いて落馬するという波乱の幕開けとなり、5番人気のフジノサムライ(牡、父スクリーンヒーロー)が逃げ切り勝ちを収めています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●アメリカンファラオがアフアームド以来の米三冠を達成

第147回ベルモントS(米G 1、ダート1200m)は6月6日、ニューヨークのベルモント競馬場で行われ、単勝1.75倍のアメリカンファラオ(牡3歳、父パイオニアオブザナイル)がフロステッドに5馬身 $\frac{1}{2}$ の差をつけて逃げ切りました。勝利騎手V. エスピノーザ、調教師B. パファート。良馬場の勝ちタイムは2分26秒65。これで8戦7勝とし、ケンタッキー・ダービー、ブリークネスSを含めた米三冠達成はアフアームド以来37年振り12頭目です。

●英ダービー快勝のゴールデンホーン、凱旋門賞2番人気へ

第236回の英ダービー(G 1、芝1200m)は6月6日にエプソム競馬場で争われ、本命のゴールデンホーン(牡3歳、父ケーブクロス)が待機策から残り100mで抜け出し、ジャックホプスに3馬身 $\frac{1}{2}$ の差をつけて快勝しました。勝利騎手L. デットーリ。J. ゴスデン調教師は1、2着独占。ここは7万5000ポンド(約1430万円)の追加登録料を支払って出走し、通算4戦4勝。これでトレヴに次ぐ凱旋門賞2番人気に浮上しました。